

# 今、災害時に配慮が必要な人たちについて考える。

災害発生時に高齢者・障がい者・乳幼児・外国人など特に配慮を要する方がいます。災害発生情報や避難情報の気付きが遅れたり、避難行動がすぐにとることができなかつたり、避難先で配慮の必要な状態が周囲に気付かれず、いのちの危険にさらされることがあります。

防災・減災への社会的関心が高まる一方で、支援体制が整っていない現状があることから、当事者・関係団体で意見を出し合い、多様性のある配慮を確認し、危険を回避できる方法やセクターの役割について学び合います。



実施日／2020年 **2月1日** **土**

時間／10:00～15:00

会場／秋田県ゆとり生活創造センター **遊学舎**〈会議棟〉

講師／**渡辺日出夫**さん〈防災士／日本NPOセンター〉

※ 託児も受け付けますので、ご連絡ください。

無料  
関心のある方、どなたでも参加できます！

## 【当日スケジュール】

10:00 開会 主催者挨拶

講演「災害時に配慮が必要な人への気付きと支援」

11:00 活動発表

- 生活困窮者や法の隙間に置かれた方の支援
- 食物アレルギーを持つ子どもや保護者への支援
- 外国人への対応（言葉、心、制度など）
- 社会的マイノリティの対応

12:00 アレルギー除去食の試食会、休憩（昼食は各自ご用意）

13:00 分科会

まとめ・交流会

15:00 閉会

非常持ち出し品の展示や体験コーナー

（ハンドマッサージ・車いす操作・白杖操作）もあります。

※本事業は、損保ジャパン日本興亜・日本NPOセンターとの協働事業として実施します。

“ひとりもとり残さない”を目指して、私たちは持続可能な開発目標（SDGs）に取り組んでいきます

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

お問い合わせ  
お申し込み先

特定非営利活動法人 **あきたパートナーシップ**  
〒010-1403 秋田市上北手荒巻字塚切24-2（遊学舎）  
**TEL.018-829-2140 FAX.018-829-5803**  
**E-Mail:info2340@akita-partnership.jp**